

県南9高校の写真部員

撮影手法や表現学ぶ

大仙市

県南9高校の写真部員を対象にした講習会が10日、大仙市の大曲農業高校で開かれた。県高校文化連盟写真部会県南支部の主催。部員約90人が参加し、作品作りに向けた知識を学んだ。

秋田公立美術大の草薙裕准教授が講師を務め、「レンズ

と焦点距離」のテーマで講話した。

草薙准教授は、レンズの焦点距離の違いで写真の遠近感や奥行きが変わることを説明。焦点距離が短いほど画角を広く、長いほど狭く撮影できるとして、自身の作品を示しながら撮影手法を紹介し



た。神社の階段を撮った作品は広角レンズで低い位置から

県南9高校の写真部員が参加した講習会

見上げるように写し、積み重ねられた時間の重みを表現したと解説した。

画角や撮影距離を選択できるのが写真表現の面白さだとし、「一眼レフでもスマートフォンでも、どんな表現をしたいかによって設定を選ぶよう意識してほしい」と呼びかけた。
(三浦ちひろ)